



学校だより しゅんいん

令和8年4月7日(火)
第1号

相模丘中学校

「雲外蒼天」

校長 松平 康隆



相模丘中学校の皆さん、並びに保護者の皆様、令和7年度にひきつづき、校長を務めることとなりました松平康隆（まつだいら やすたか）です。副校長は本年度より、羽尻宝（はじり たから）が務めます。どうぞよろしくお願い致します。今年も143名の新入生を迎え、全校生徒489名となりました。歴史と伝統、そして自然豊かな学習環境に恵まれたこの相模丘中学校で、生徒の皆さんの学校生活が明るく実り多きものとなりますよう、私たちも先生方と一緒に力を尽くしていこうと思います。

生徒の皆さんは、入学、進級を経て、新しい生活をスタートさせました。環境が変わったことで、期待と不安が入り混じったような気持ちですごしている人もいるかもしれません。そのような皆さんに「雲外蒼天（うんがいそうてん）」という言葉を送りたいと思います。「雲外蒼天」とは、「雲の先には青空が広がっている」ということから、「努力して試練を乗り越えれば、希望に満ちた未来が待っている」ということを表しています。中学校生活の中では、さまざまな試練が皆さんを待ち受けていることと思います。各教科の授業、委員会や係活動、学校行事への取り組み、部活動など、いろいろな場面で、皆さんは課題を乗り越えていかなければなりません。どんなことにも、「自分の意見をしっかりともち、主体的に考える」ことを大切にしましょう。また、「仲間と協力し、意見を交換し、お互いを尊重すること」を常に心がけましょう。

自分の意見や考えをもちつつ、仲間の考えを理解し尊重することができれば、物事は自然と正しい方向へと向かうようになり、豊かな心の和を広げていくことにつながっていきます。時には、なかなか理解し合えないこともあるかもしれませんが、そんな時こそ仲間に協力を求め、お互いが納得のいく答えを見つけてほしいと思います。そうした過程こそが、「お互いを尊重する」ということなのだと思います。尊重し、尊敬しあうことさえできれば、人との関係はあたたかく、豊かなものになります。

そして、中学生らしく、自分自身にもまわりにも恥ずかしくない行動を心がけましょう。昨年もふれましたが、「ご家族や先生方の言い付けを守る」「遊びを少し我慢して、目標を立てて勉強してみる」「友達を思いやる」「人が見ていないところでもきちんとふるまう」「毎朝決まった時間に起きて、身だしなみをきちんと整える」「いってきます、ただいま、いただきます、ごちそうさまと、感謝を込めてちゃんと言う」「ありがたの気持ちを忘れない」「間違った時はきちんとごめんなさいと言って、自分自身にもけじめをつける」「頑張っている友達がいたら、心から応援する」そして、「自分なりの目標を立てて、自分なりに努力する」こうしたことを大切にしてほしいと思います。皆さんに心がけてほしい良い行いとは、どれも日々の生活で意識できることばかりです。そして、頑張ったときには、自分自身の頑張りを認めて、きちんとほめてあげることも忘れないでください。学校生活の様々な場面を通じて自分を磨き、仲間たちと手を取り合って、雲の先に広がる明るい未来へと歩みを進める、そんな相模丘中生であってほしいと思います。

保護者の皆様、ぜひ今年も学校に多く足をお運びいただき、お子様が感じる日々の感動と成長を、お子様の近くで共に感じていただきたいと思います。ご家族のあたたかいご理解を得て、生徒一人一人が「自律」に向けた確かな一歩を踏み出す一年となりますよう、教職員一同、今年もまた志を新たに励んで参ります。ご家庭でも、お子様が一年を良いかたちで始められますよう、ご支援いただきたく存じます。今年度も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和8年度の重点的取り組み

重点項目1【生きる力の育成】

すべての活動の柱として、常に意識して取り組む

- (1) 人間関係形成・社会形成能力…「つながる力」
多様な価値観・社会に参画する力・コミュニケーション力を育む
- (2) 自己理解・自己管理能力…「自律する力」
主体性・規範意識をもち行動する力・自分を調整する力を育む
- (3) 課題対応能力…「乗り越える力」
情報の収集・実行する力・粘り強く続ける力を育む
- (4) キャリアプランニング能力…「見通す力」
学ぶことの意義の理解・多様な生き方への理解・自分と社会のつながりを捉える力を育む



重点項目2【学力の保障】

「意欲を高める」授業を実践する

- (1) 「学習意欲を高め、アウトプット力の向上を導く」授業の推進
- (2) 「わからない」+「わかった」が言える授業の雰囲気づくり
- (3) 個に応じた「楽しい」授業づくり（補足的な学習・発展的な学習）
- (4) 「主体的・対話的で深い学び」を捉えた授業展開
- (5) ICTの活用により個別最適な学び（個に応じた指導）を見通した「学び方」を身につけさせる授業
- (6) 総合的な学習の時間での探究的な学習の推進
- (7) 放課後学習会等、自主学習の機会充実

重点項目3【豊かな心の育成】

「共生教育」による豊かな心の育成をめざす

- (1) 人や物への「感謝の心」の育成
- (2) 周りの雰囲気を読み、他人の迷惑に気づき、「がまんする心」の育成
- (3) 人の気持ちを考え、協力を惜しまない「奉仕の心」の育成
- (4) 自分の心で判断し、ずるいことをしない「誠実な心」の育成
- (5) 新しいことに気づき、発見する「好奇心」の育成

重点項目4【自ら考え行動する力の育成】

安心して過ごせる学校の実現のために、あらゆる機会をとらえて考える

- (1) 積極的な生徒理解と生徒指導
- (2) 生徒会活動を活性化し、生徒の自主・自立・自律を支援する
- (3) 望ましい人間関係や一人ひとりの居場所をつくり自己肯定感、自己有用感を高める
- (4) いじめや問題行動を生まない雰囲気づくり、土壌づくりに努める
- (5) 相談活動の充実

重点項目5【家庭・地域に開かれた学校の実現と幼保小中一貫教育の実践】

- (1) 魅力と信頼に溢れた教育活動の展開と発信
- (2) 幼保小中一貫教育の充実・発展

重点項目6【学校運営改善に向けた働き方改革の推進】

- (1) 教育活動の内容の見直しと精選
- (2) 「限りある勤務時間」を有効に使い、生徒と向き合う時間の確保と職員のワークライフバランスの確保を推進していく

重点項目7【信頼される学校・教師であり続けるための取組の推進】

- (1) コンプライアンスを推進し、公人としての信用を失墜させる行為を厳に慎む。
- (2) 同僚性を発揮し、教職員同士他人の思いや考えをよく理解し、教師・学校としての信頼を、その仕事を通じて保持することに努める。
- (3) 危機管理能力を高め、「①生徒の安全（身体的安全、精神的安全）」「②学校への信用と信頼」「③教職員の安全」を守ることに努める。